

独自視点で見いだす「にいみの光」 その魅力を一挙に紹介します。



日本一の「親子孫水車」の迫力に圧倒されます。特に親水車の大きさは遠目でも分かるほどで、初めて見た時は驚きで大きな声が出ました。「紙の館」では、地元に伝わる奥備中神代和紙の歴史展示があり、紙すき体験(要予約)もできます。

夢すき公園
住所 新見市神郷下神代1977-1
営業時間 9:00~17:00(紙すき体験は要予約)
体験料 1組1500円(16人以上は2500円)+うちちわ600円、色紙500円、はがき300円
定休日 水曜 TEL 0867-92-6577(夢すき公園)



学生有志



地元の人々が「日本有数」と語るくらいにもきれいな、星が一一つはつきり見え、周囲に明るい建物がないからその宝物を見上げると、学校の帰り道にふと空を見上げると、たくさん星を見ることができ、癒やされます。



学生有志



人懐こくてかわいいミニヤギと触れ合えます。自家製ヤギ乳のチーズやスイーツなどが味わえるカフェも併設。これは「さーちゃん」こと定岡隆典さんが1人で経営、管理しており、地元で活躍する若手の熱意を感じられます。

さーちゃんミニヤギ牧場
住所 新見市西方2544 営業時間 10:00~16:00
定休日 牧場一年中無休、カフェは土日のみ営業
TEL 080-4264-2797



学生有志



新見の地場産業である石灰石がモチーフで、石灰業者でつくる新見鉱山会とのコラボによって誕生。炭酸カルシウムが生地に練り込まれ、形も石灰石にそっくり。口の中でほろと崩れ、初めて食べた時はおいしすぎて感動しました。



学生有志

さつき屋 本店
住所 新見市金谷1165-2 営業時間 9:00~18:00
定休日 水曜(不定休) TEL 0867-72-2177



日本最古と言われる蔵牛をルーツに持ち、山で生活しているため足腰が強いのが特長です。頭数が多くないですが、千屋のみさんが大切に守ってきた牛で、全国の人に知ってもらおうと、ぜひ食べてもらいたいです。



岩瀬氏



草間台地区は稲作に不向きなカルスト台地のため、昔からソバや葉タバコが作られていましたが、現在はモモ、ブドウなどの果物も栽培されています。その自然や歴史を生かしたまちづくりに取り組む人たちがいます。



岩瀬氏



江戸時代、初代新見藩主関長治によってつくられたまち「新見御殿町」。土下座まつりなどイベントが盛んで、まち歩きガイドもあります。新見美術館は新見の歴史がたどられ、桜の名所でもある「城山公園」からは市内を一望できます。

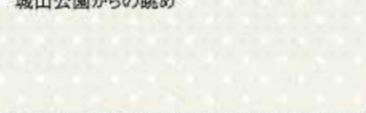


宮長氏

新見御殿町
住所 新見市新見
TEL 0867-72-1177 (新見市観光協会)



新見美術館



城山公園からの眺め

郊外のスポット

羅生門(国指定天然記念物)、希少な湿原植物が生ずる鯉が窪湿原(岡、県北で初開催)の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」(9~11月)の展示会場の一つ、近年「映えスポット」として人気を集める満奇洞(県指定天然記念物)と、自然の雄大さを体感できます。

満奇洞
住所 新見市豊永赤馬2276-2
営業時間 8:30~17:00(入場は16:30まで)
定休日 なし
料金 大人(高校生以上)1000円、中学生800円、小学生500円、小学生未満無料
TEL 0867-74-3100(管理事務所)



宮長氏



3億年とも言われる歴史がある鍾乳洞の自然のエネルギーに圧倒されます。自然の造形美に驚くと同時に、洞内の随所に設置された「頑張り」あとし、といった手書きの案内板から人間味が感じられ、温かい気持ちになります。



中川氏

井倉洞
住所 新見市井倉409
営業時間 8:30~17:00(入場は16:30まで)
定休日 なし
料金 大人(高校生以上)1000円、中学生800円、小学生500円、小学生未満無料
TEL 0867-75-2224(井倉洞)



長くまっすぐ伸びる参道と、両脇にまっすぐ立つスギの木との「絵」が美しい。長い階段を上りながら、しんとした気持ちになります。あまりの静けさに「地の果て」のような心持になりました。このままであってほしい場所です。



中川氏

荒戸神社
住所 新見市皆多町田園917

ふるさととの光 発見プロジェクト 6紙連携企画



in 岡山 - 岡山県新見市 -

選定者の皆さん

 新見市学生有志 濱田真衣さん(右)、吉田彩希さんは健康科学部地域福祉学科3年。志願者から選定された地域貢献学生グループ「地域共生推進センター」に家族でフィールドワークを行う。新見市立大で学修した「博士(公共政策) 米・ガリア」の魅力を発信するフリーペーパーの制作などに携わる。	 岩瀬 泰氏 岡山大学研究・イノベーション創構准教授 いわぶちやよし、日、仏米のまちづくりを参加民主主義の視点から研究。新見公立大学でまちづくりの集中講義を非常勤で担当。学生と同様に家族でフィールドワークを行う。新見市立大で学修した「博士(公共政策) 米・ガリア」の魅力を発信するフリーペーパーの制作などに携わる。	 中川 正子氏 なかがわまさこ 津田塾大学在学中に専攻を始め、雑誌や書籍、企業広告など多彩なジャンルで活躍。2011年、東日本大震災をきっかけに家族でフィールドワークを行う。新見市立大で学修した「博士(公共政策) 米・ガリア」の魅力を発信するフリーペーパーの制作などに携わる。	 宮長 雅人氏 みやなが まさと 早稲田大学卒業後、1977年、中国銀行入行。常務、頭取などを経て2019年から会長。22年よりちゅうぎんフィナンシャルグループ会長を兼務。11年、岡山経済同友会入会。18~23年まで代表幹事を務める。新見市出身。1954年生まれ。
--	---	---	---



幕末の藩政改革者、教育者として知られる山田方谷(1805~77年)は明治維新後、現在の岡山県大佐に移住。大佐山田方谷記念館をはじめ、方谷庵、方谷園、丸川松園、山田方谷の屋敷といった足跡が至るところにあります。



宮長氏

大佐山田方谷記念館
住所 新見市大佐小南323-3 開館時間 10:00~16:00
休館日 月・火曜(祝日の場合は翌日)、12月28日~1月4日
入館料 300円 TEL 0867-98-4059

「ふるさととの光」発見プロジェクトとは

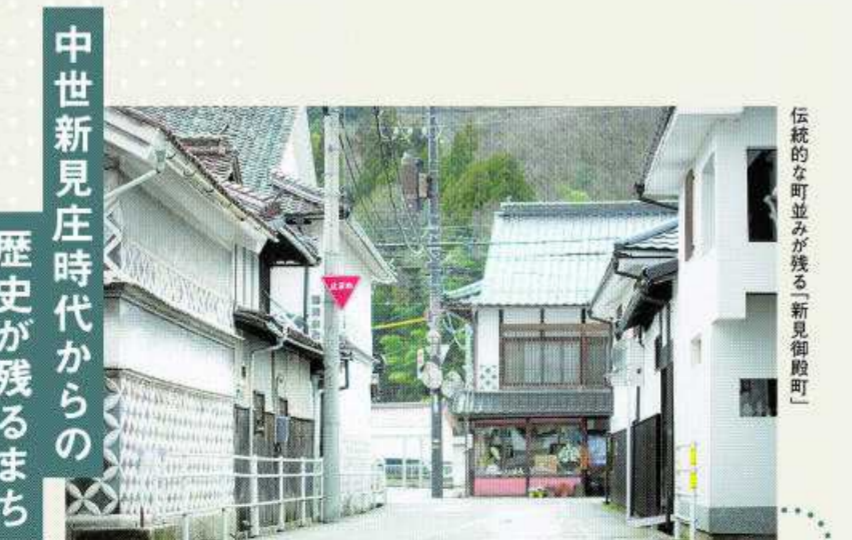
北国、福井、京都、神戸、山陽、中国の6地方新聞社による実行委員会主催。人口流出や高齢化といった課題を抱える地方に人呼び込み、持続的な発展につなげるため、新聞社が持つ地域ネットワークを生かして各地域の魅力を発見。第1弾は歴史や自然、食といった分野で新見市内の「ふるさととの光」を選定。各社の紙面で紹介し、旅のプランも提案する。今後、2~3年かけ順次、各新聞社発行エリアで展開する予定。

★詳細は特設サイトで

「ローカルフード」「自然」「歴史」を主なテーマに「ふるさととの光」を堪能できる3つのプランを提案。プランの詳細やプロジェクトの詳細は特設サイトをチェック!

「ふるさととの光」発見プロジェクト in 岡山 - 岡山県新見市 -

【後援】岡山県 【協力】新見市、一般社団法人 新見市観光協会
【写真提供】岡山県観光連盟、新見市
【事務局】山陽新聞社広告本部(岡山市北区柳町2-1-1、086-803-8013)



京都・東寺の荘園だった「新見庄」は、紙などを産する重要な荘園で、東寺百舌文書(国宝)に関連の古文書が数多く残っています。各時代の文化や自然、町並みが現代に残り、体験を通じて学びを深められます。



学生有志

川や山が織りなす美しい景観が広がる新見。新見の魅力は、個性ある地域に育まれた豊かな自然が、生活している人の手にかかり、おいしくなっていくことです。地域の人が伝統や文化をもとに美味しいグルメを提供しています。



岩瀬氏



新見の風土が体と心をつなぐ「ローカルフード」



岩瀬氏

約300年以上続く伝統行事。沿道で姿勢を低くして迎えるため「土下座まつり」と呼ばれています。市民が待と観衆に分かれ盛り上げ、中心市街地のアイデンティティを可視化する大切なまつり。毎年10月15日に開かれます。

